

農業による地域活性化事業

取り組みに至る背景・事業の目的

当事業所は、高齢者・障害者(児)・乳幼児小規模デイサービス及び一時預りに取り組んでおり、事業所が東御市街中心付近に位置するため、利用者や事業所への来訪者が近隣の商店にとっての新たな購買層として期待されている。

- 近隣の畑 20a を借用し、知的障害者の野菜栽培を行うことで、自立の手助けをする。
- また、農業経験のある高齢者や近所の方々の力を借りることで、それらの方々の生きがい作りに役立てる。
- さらに、収穫物の販売などで幅広い方々に関心を持ってもらい、当地に来訪してもらうことで地域活性化にも寄与する。

事業内容

- 障害者と高齢者、地域住民(学生を含む。)が農業を通じて交流の場とする地域ぐるみの事業展開
- 農園で作業する障害者等に対する地域の方々の支援による連携強化
- 道の駅および地元スーパーマーケットへの納品
- 販売による事業の質の向上
- 都心における野菜販売による東御市地域の周知、宣伝
- 農作業の効率化による作物の収穫増



【収穫風景】

事業効果

障害者や高齢者等と地域の住民や学生との連携が図られ、地域の交流が生まれた。特に農園を見て刺激された地域住民の方が、遊休化していた畑を復興して作物栽培を始め、生きがいになった事例もあった。

正しく情報を伝えることにより、障害者が作った農産物が偏見を持たれず、十分商品価値のある商材として事業展開ができた。

マスコミにも取り上げられ、またニュースリリースがインターネット上で話題になり相当数の書き込みがなされるなど、地域の宣伝等に役立った。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

高齢者の生きがい対策として、地域の高齢者が所有する農地の耕作支援を行う。また、野菜以外の作物の栽培を始めるとともに、高齢者、障害者が行う新しい分野の取り組みに着手する。

現行の作物栽培を維持・充実させ、引き続き地域住民と連携をもった展開を行うなかで、高齢者や障害者が直接行う事業として確立する。

常に地域住民や地域のなかで事業を展開していくことを念頭に、新しい事業の可能性について模索する。

【選定のポイント】

利用者が、農業を通じて住民や学生と交流を深め、また利用者以外の者も農作業に参加するなど、活動が地域に浸透しており、元気な地域づくりに寄与している。

団体名	NPO法人普通の暮らし研究所(東御市)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	岩井屋農園 電話 0268-64-1439	事業費	904,319円
ホームページ	http://www.iwaiya.org/	支援金額	757,000円
メールアドレス	kurashi@iwaiya.org		